



# 「一泊二日」展

## 初街のいにしえ兄弟

倉科直弘・タカハシ'タカカーン'セイジ・前谷康太郎



主催：すびす / センター / 家 / AIR  
補助：文化庁「ARTS for the future!」

「3人でひとつのことをやってみよう」という倉科からの提案で始まった企画。

どこまで狙ったかは知らないが、3人でのやりとりのために倉科が立ち上げたメッセンジャーアプリのグループ名が「初街のいにしえ兄弟」。全く気にも留めていなかったタカハシと前谷。企画会議のたびに宴会になし崩れていく。だんだん焦るタカハシ。ふと倉科が、「写真ではなく、脚本がしたい。タカハシは何もしない気だがなんかやりなさいよ」。一瞬戦慄したが、3人で映画を作るものかと、そこで決まった光と音と言葉のスペクタクル。

「初街」とは「はつがい」と呼ぶ倉科の造語だそうで、「訪れたことのない初めての場所」のことである。今回、時間もなかったことから、当日にタカハシが閃いたさらなるテーマが「ディスカバリー大阪」である。

現在は、倉科以外大阪をベースとしていないが、同じ街に住んだことがあり、改めて「大阪」とくっつけていることへのおごりに向き合うべく、南南へと車を進めた。さて、そこでどんな発見があったでしょう……。



会場：すごセン（すごす / センター / 家 / AIR）

時間：2021年12月16日（木）－20日（月） 15：00－20：00

住所：京都市南区上鳥羽南唐戸町121-4

※121までで検索して右隣の久世ハウスという建物です！（最寄バス停 五丁橋）

料金：1000円（期間中何回でも再鑑賞可能です）

参加：初街のいにしえ兄弟

（倉科直弘＝写真・脚本、タカハシ‘タカカーン’セイジ＝録音・会場主、前谷康太郎＝映像）